

FF'94 が残したもの

小山 貞

(東京消防庁消防総監)

Firesafety Frontier' 94 が東京消防庁に残したものは多い。若い職員は同信をもち、幹部職員は悶々的な視野で考えるようになった。発表された意見を今後の業務に活かし、さらに東京国際消防博覧の具現は大きな課題である。このような、形の見えにくいことが最も重要なことだが、ここでは形の見えるものについて述べる。

まず、その1は消防安全と2001年消防ということば。

Conference and exhibition の名称に単に Fire を冠しただけではつまらない。そこで、Firesafety を用いることにした。Firesafety は Fire protection と同じ意味とされており、Fire protection はつきのように説明される。

The science of reducing 1088 of life and property from fire by both fire Prevention and fire extinguishment.

つまり Firesafety, 'Fire protection とともに、「警防と予防を含む消防のすべて」である。しかし Fire protection の和訳は「防火」であり、「防火」は語感として Fire extinguishment を含まない。このようなことから、名称には Firesafety を用いながら、新たな造語消防安全は Firesafety よりも広く「火災や救急をはじめ、消防が担うすべての安全」を意味するものとした。

FF' 94 のテーマは 21 世紀の消紡である。しかし、21 世紀の扉として 2001 年を捉え、より高い次元の消防安全を常に追求し続ける消防の姿をイメージして、2001 年消防—安全へのかけ橋がテーマとされた。

その2は、マスコットポンパル。

まずかわいい絵柄ができて、かわいい名前としてポンパルと名付けた。加えて、消防のシンボルであるポンプの仲間という意味もあり、和製ながら英語の名前(PUMP-PAL)もある。FF' 94 が終了しても、2001 年までは東京消防庁のマスコットである。

なお、火と水のシンボルマークは FF' 94 の終了により、今後は使用しないこととした。

その3は、FF' 94 記念テーマ曲 Fireman Spirit March。

テーマソング、テーマ曲のいずれを作成するか論議されたが、東京消防庁には音楽隊があり、音楽隊が演奏するにはテーマ曲の方がいいこと、また、FF' 94 終了後も使用することを考えて、テーマ曲とされた。作曲趣旨は、国際社会の平和と安寧を願いつつ、水と機械と人の三位一体で災害に立ち向かう消防の英知と勇気を表現したものである。なお、あわせて FF' 94 記念ファンファーレも作成した。

消防安全、2001年消防、ポンパル、Fireman Spirit March とともに、今後大いに活用したいと考えている。